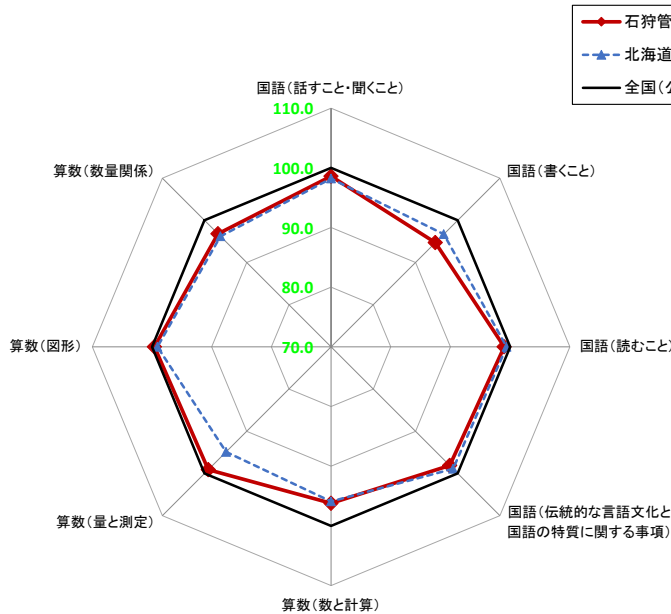


■小学校の状況(学校数:263校、児童数:18,033人)

【教科全体の状況】

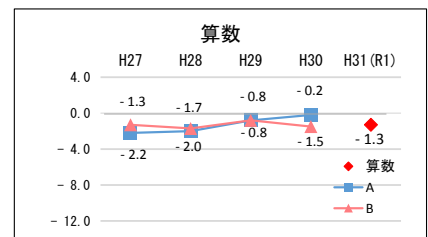
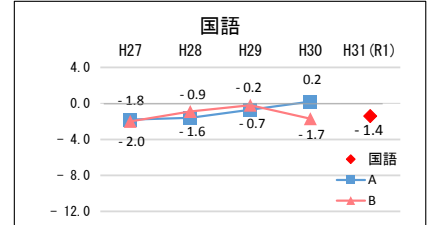
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率】

	国語	算数
石狩	62[62.4]	65[65.3]
全国	64[63.8]	67[66.6]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

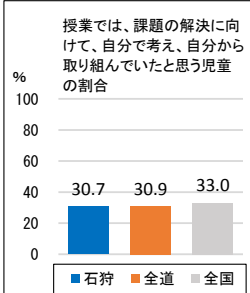


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

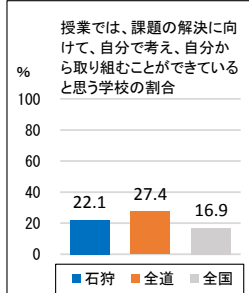
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

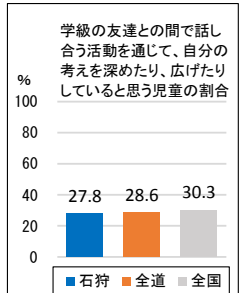
* 児童質問紙



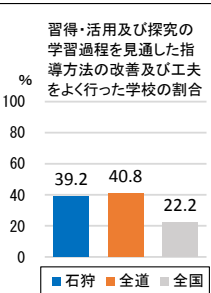
* 学校質問紙



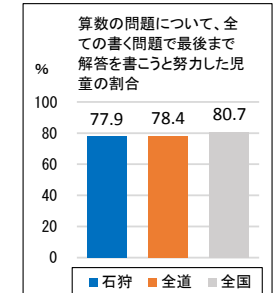
* 児童質問紙



* 学校質問紙

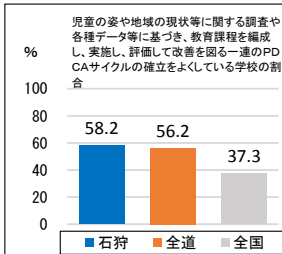


* 児童質問紙

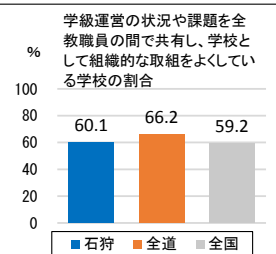


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

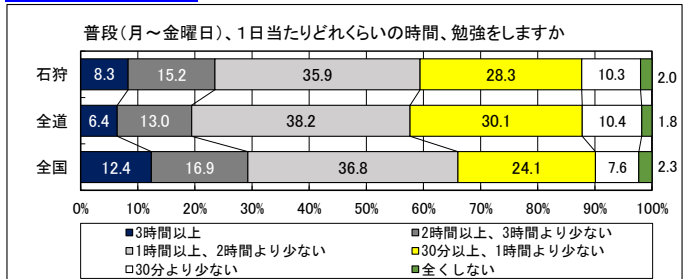


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



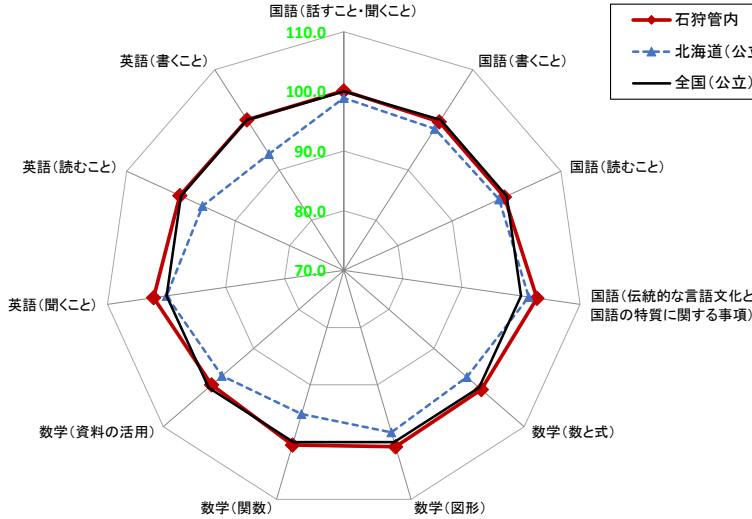
【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う児童の割合は30.7%で、全国を下回っており、課題である。 ○ 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよんでいる学校の割合は58.2%であり、全国及び全道を上回っている。 ○ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は59.4%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の実態を踏まえ、「見通す」「振り返る」活動の確実な実施や、「目標(めあて・ねらい)」や「まとめ」の質の向上、対話の効果的な位置付けなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進める必要がある。 ○ 各種調査の分析結果及び具体的な改善策を全校で共有するなど、PDCAサイクルの一層の充実を図る必要がある。 ○ 家庭での学習方法の具体例を挙げて指導するなど、学習習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

■中学校の状況(学校数:138校、生徒数:16,742人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

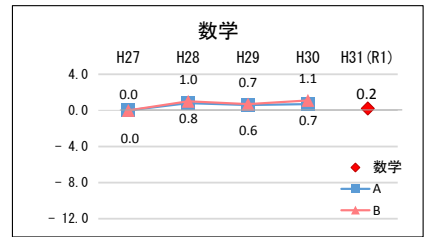
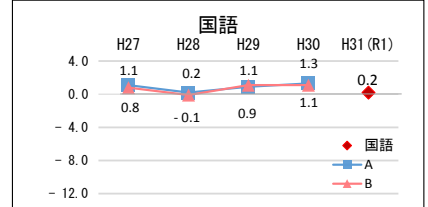


【平均正答率】

	国語	数学	英語
石狩	73[73.0]	60[60.0]	56[56.5]
全国	73[72.8]	60[59.8]	56[56.0]

※英語は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計値

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

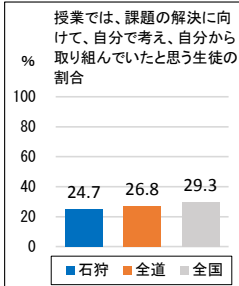


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

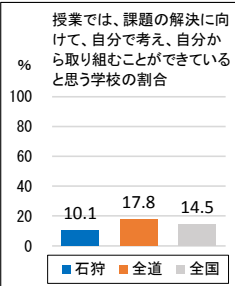
【質問紙の状況】

学習意欲、指導方法

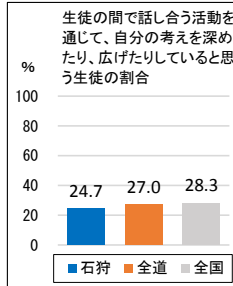
* 生徒質問紙



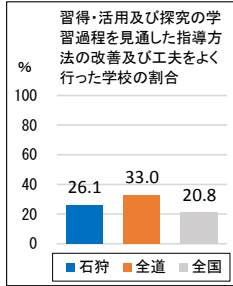
* 学校質問紙



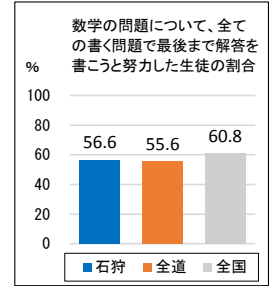
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

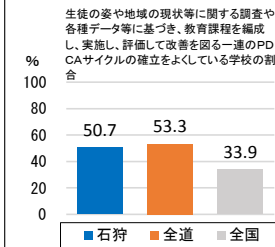


* 生徒質問紙

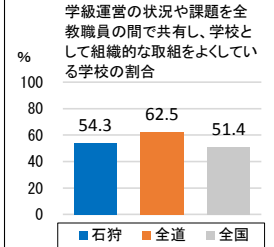


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

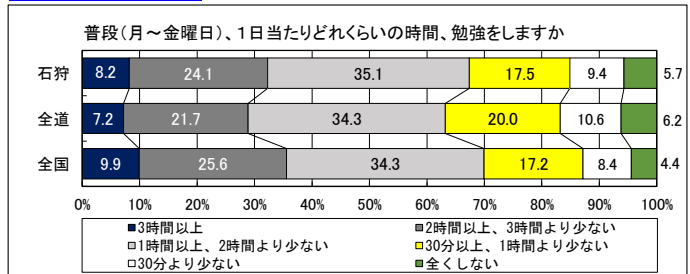


* 学校質問紙



学習習慣

* 生徒質問紙



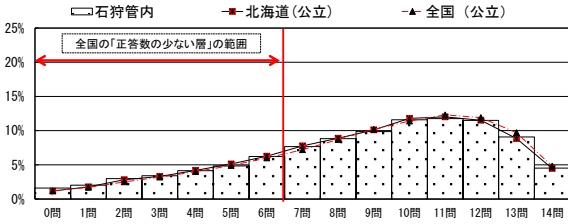
【分析及び改善の方向性】

分析	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしていると思う生徒の割合は24.7%で、全国を下回っており、課題である。 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよくしている学校の割合は50.7%であり、全国を上回っている。 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は67.4%で、全国を下回っており、課題である。
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、意図的、計画的に話し合う活動を位置付けるなど、対話的な学びの充実を図る必要がある。 各種調査の分析結果及び具体的な改善策を全校で共有するなど、PDCAサイクルの一層の充実を図る必要がある。 家庭での学習方法の具体例を挙げて指導するなど、学習習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

石狩管内

小学校国語

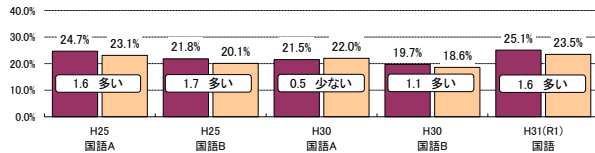
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
石狩管内	18,033	8.7 / 14	62.4	9.0	3.5
北海道(公立)	38,831	8.8 / 14	62.8	9.0	3.4
全国(公立)	1,028,203	8.9 / 14	63.8	10.0	3.4



●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

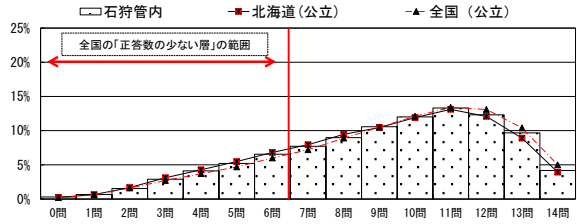
全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

■石狩管内 □全国



小学校算数

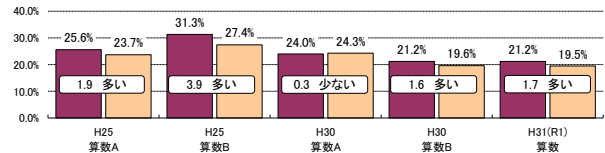
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
石狩管内	18,037	9.1 / 14	65.3	10.0	3.1
北海道(公立)	38,837	9.0 / 14	64.5	9.0	3.1
全国(公立)	1,028,177	9.3 / 14	66.6	10.0	3.1



●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数

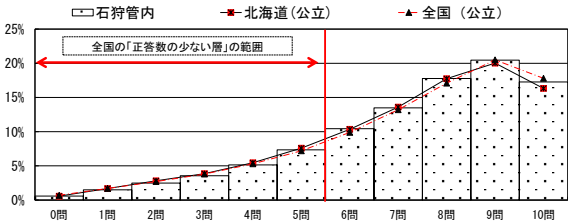
全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

■石狩管内 □全国



中学校国語

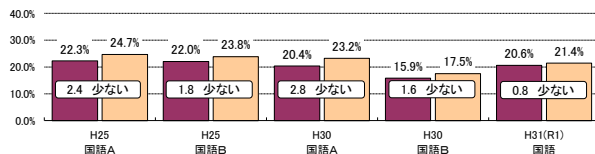
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
石狩管内	16,742	7.3 / 10	73.0	8.0	2.3
北海道(公立)	37,859	7.2 / 10	72.1	8.0	2.4
全国(公立)	938,797	7.3 / 10	72.8	8.0	2.4



●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

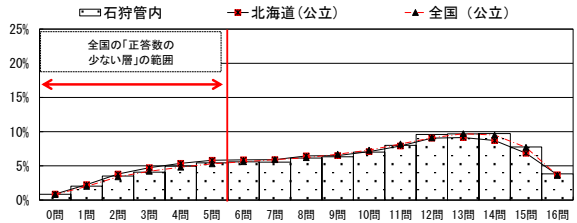
全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

■石狩管内 □全国



中学校数学

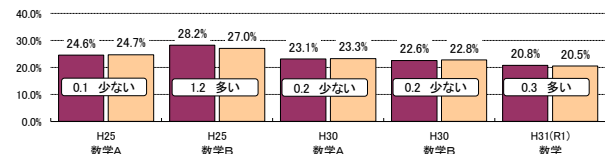
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
石狩管内	16,744	9.6 / 16	60.0	10.0	4.2
北海道(公立)	37,844	9.3 / 16	58.1	10.0	4.2
全国(公立)	938,887	9.6 / 16	59.8	10.0	4.2



●全国の「正答数の少ない層」は、5問以下の正答数

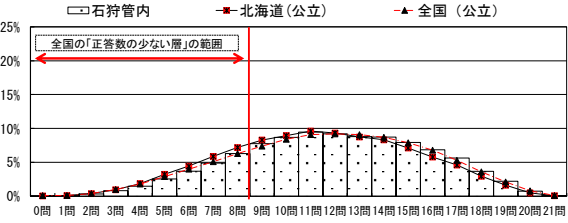
全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

■石狩管内 □全国



中学校英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」

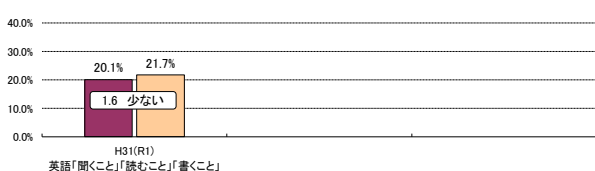
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
石狩管内	16,763	11.9 / 21	56.5	12.0	3.8
北海道(公立)	37,844	11.4 / 21	54.2	11.0	3.8
全国(公立)	938,888	11.8 / 21	56.0	12.0	3.9



●全国の「正答数の少ない層」は、8問以下の正答数

全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる生徒の割合

■石狩管内 □全国



【参考】【平成28年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ正答数の範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A

石狩管内	全国
23.7%	21.3%
全国との差 2.4 多い	

小学校国語B

石狩管内	全国
31.0%	29.8%
全国との差 1.2 多い	

小学校算数A

石狩管内	全国
27.7%	24.2%
全国との差 3.5 多い	

小学校算数B

石狩管内	全国
22.6%	20.0%
全国との差 2.6 多い	